

1年生学年だより

3月号

2014年3月5日

どんな生き方をしますか？

2月には、車いすバスケットの4人の方に来ていただき、迫力のあるプレイをみせていただき、お話もきかせていただきました。自分の夢をかなえるために、自分のやりたいことを実現するためにはどうすればうまくいくのかを常に前向きに考え、努力する生き方に感動を覚えた人も多かったと思います。

お話を聞かせていただいて、とても大切なことに気づきました。1つめは、「努力は必ずむくわれる」ということ。2つめは「人はできることと、できないことがある」ということ。3つめは「できることを数える」ということ。いちばん大切なのは「やりたいこと、夢を追いかけて、笑って毎日自分のやりたいことに向かって頑張ること」この4つを気づかせてくれました。目の前にあるつらいことは、幸せがくる前の前兆だから、つらいことは光になる。

私にも夢があります。将来やりたい職業があります。その夢に向かって改めて毎日がんばります。

など、自分自身の生き方を見つめなおす人が多かったです。

また、西田功さんにも来ていただき、お話を聞かせていただきました。人として大事なことは何なのかをわかりやすく、手話の歌を交えながら、お話してくださいました。

人間は2つの心を持っているというお話をされたときに、どういう意味なんだろう？と思いました。でもお話を聞いて、意味がわかりました。西田さんが天王寺に行って、1人目に会った人は、障がいのある方に失礼だなと思ったし、絶対にそんな人にはなりたくないと思いました。私は、2人目の方みたいな同じ気持ちになって考えられる人になりたいと思いました。

ソチの冬季オリンピックが終わりました。深夜寝不足になりながらテレビを見ていた人も多かったのではないのでしょうか。中学生の平野歩夢、高校生の平岡卓、最年長で活躍した葛西紀明、フィギアスケートの羽生結弦、涙なしでは見られなかった浅田真央の演技、上村愛子・・・など、それぞれが輝いていましたね。苦しいときにも自分の夢をあきらめなかった生き方・・・素晴らしいです。私は、僕はどんなふうに生きていくのか、2年生を間近にひかえて、しっかり考えてください。

3月7日から16日まで、パラリンピックがはじまります。「パラリンピック」の意味は「できないことを数えるのではなく、できることを数えること」と、車いすバスケットの諸隈さんが言われましたが、覚えていますか？ 私たちにとって見本となる素晴らしい生き方に出会えるのではないのでしょうか。テレビ放映など、ぜひ見てくださいね。

インフルエンザ猛威をふるう！

1年生は、A型にはじまり、テスト前～テスト中にかけてB型が猛威をふるいました。学級閉鎖、学年閉鎖と続きましたが、テストもあり、心配になったり不安になったりした人も多かったと思います。皆さん、体調はいかがですか？規則正しい生活、うがい、手洗いを心がけましょう。

球技大会

最後の行事として、球技大会があります。種目はこれから決めていきますが、このクラスのメンバーで活動するのもこれが最後です。優勝をめざすのもいいですが、みんなで楽しむことができれば最高ではないでしょうか。クラスの輪を大切に、みんな頑張ってください！